



□ 寺町通りと烏山神社あたり

松平信綱は城下の町割を行うにあたり、寺院を城の西側、赤間川（現新河岸川）に沿った台地上に配し、川越城の守り地とした。一番街の1本西側の通りは、通称寺町通りといわれ、寺院の屋根ごしに樹木を眺めつつ歩ける通りである。巨木の繁る烏山神社の横道と交差するあたりは、文化財に指定されている松本醤油の蔵もあり、大変雰囲気が良い。

